

イチャオシ!

M OVIE

『パプーシャの黒い瞳』

かつて、ポーランドにはほろ馬車で旅するジプシーの暮らしがあった。閉鎖的で独自の文化を持つ彼らは、差別の対象とされてきた。文字を持たないジプシーの一族に生まれたパプーシャは、文字に引かれ、独学で読み書きを学んで詩を書くようになる。しかし、彼女の天賦の才は、外部に秘密を漏らさないことを掟とするジプシー社会に次第に影を落として行く。本作品では、一人の女性の物語を通して、激動の時代の中でジプシーたちが直面した史実を伝える。



© ARGOMEDIA Sp. z o.o. TVP S.A. CANAL+Studio Filmowe KADR 2013

2013年／ポーランド／131分
 監督・脚本：ヨアンナ・コス＝クラウゼ、クシシュトフ＝クラウゼ
 出演：ヨヴィタ・ブドニク、ズビグニェフ＝ヴェレリシ他
 公開：4月4日(土)より岩波ホール他全国順次公開
 URL：www.moviola.jp/papusza/
 配給：ムヴィオラ

E VENT

『「他人の時間」展』

東京都現代美術館、国際交流基金アジアセンター、国立国際美術館、シンガポール美術館、クイーンズランド州立美術館 | 現代美術館、による共同主催事業。展覧会は東京で始まり、共催各国を巡回しながら、アジア・オセアニア地域のアーティストによる写真・絵画・映像などの作品を紹介。他者との境界を揺るがし続ける歴史や、相互に作用しながら変容する社会について探る作品を通じ、互いを、そして自らをどう認識しているのかを問う。

会期：2015年4月11日(土)～6月28日(日) 10～18時(入場は閉館30分前まで)
 ※休館：月曜日(5月4日は開館)、5月7日(木)
 会場：東京都現代美術館 企画展示室1F
 問：東京都現代美術館
 TEL：03-5245-4111(代表)
 /03-5777-8600(ハローダイヤル)
 URL：http://www.mot-art-museum.jp/exhibition/timeofothers.html



キリ・ダレナ《消されたスローガン》2008

B OOK

『信じられない「原価」』

買い物で世界を変えるための本 ③食べ物

「食品ロス」という言葉を聞いたことがあるだろうか。先進国では、まだ食べられる食品が、「食品ロス」、つまりゴミとして大量に捨てられている。一方、開発途上国の食品産業の影には、児童労働や低賃金などの問題が潜む。普段、私たち消費者が何気なく購入し、口にしていく食品。その裏にある問題に少しでも目を向け、意識を変えれば、日常の買い物を通じて世界は変えられるのだ。身近な食べ物にまつわるさまざまな問題を分かりやすく紹介したこの一冊で、あなたの食生活と世界がつながる。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

ケイティ・ディッカー 原著
 稲葉茂勝 訳・著
 こどもくらぶ 編集
 講談社
 3,240円(税込)

B OOK

『世界のじゃがいも料理 南米ペルーからヨーロッパ、アジアへ。郷土色あふれる100のレシピ』

世界中で愛されているじゃがいも。どんな土地でも豊かに育ち、人々のおなかを満たしてくれるじゃがいもは、南米アンデスで生まれ、16世紀以降にヨーロッパ、アジアへと広まっていった。煮てよし、焼いてよし、揚げてよし。世界には、じゃがいもを使った数え切れないほどの郷土料理がある。17カ国、100のレシピを、現地の写真やささまざまなじゃがいもエピソードを交えて紹介する本書を開くと、例えば「じゃがいも祭り」のようなユニークな習慣がある国にも出会える。さあ、じゃがいもと世界の旅に出かけてみよう。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

誠文堂新光社/編
 誠文堂新光社
 3,024円(税込)